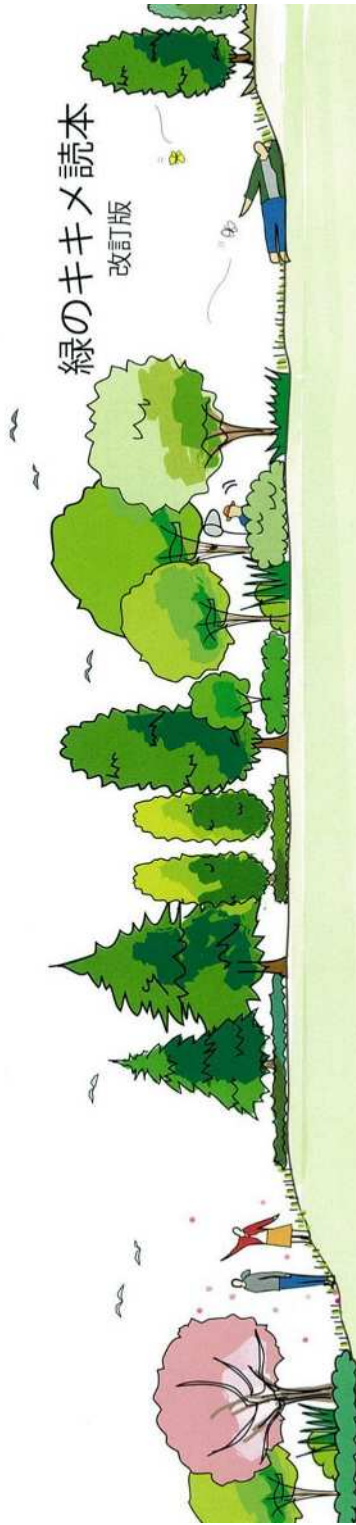




緑のキキメ読本
改訂版

公益財団法人 都市緑化機構
グリーンビジネス・マネジメント共同研究会

平成 27 年 6 月

はじめに

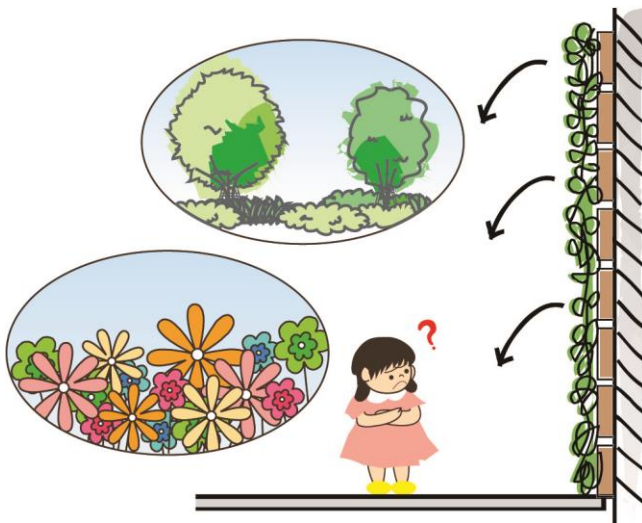
「緑って、なんで植えないといけないの？」

「手入も大変だし。花は好きだけど、緑っていわれてもね。」

と言われて、「いえいえ、緑はいいものですよ」と、答えるために作ったのがこの「緑のキキメ」です。

芝生はたった1㎡で、材料・手間を含めて1,500円ぐらいですが、地面の高温化を防ぎ、雨水を吸い込み、酸素も出してくれます。そして、裸足で歩くと心地よく、アリのような生物たちの棲家にもなります。建物のフローリングの床は1㎡で安くても4000円ぐらいで、酸素も出さず、水で濡れたら、拭かないといけませんよね。と、いう具合に緑のほうがいいような気がしてきませんか。

温暖化、資源エネルギーの減少、水不足等、地球環境に対して将来を不安にさせる言葉が日常で頻繁に使われています。そこで、なにかと救世主のように扱われるのが緑、植物です。ゴーヤの緑のカーテンだけが緑の力と思わないでください。まだまだたくさん、良いところがあります。



もくじ

はじめに

1. キキどころ -----	1
(1) エコにキク -----	1
気象緩和、水循環、風環境調整、地域生態保全及び復元	
(2) 人集め・町おこしにキク -----	11
景観づくり、緑のイベントづくり	
(3) 健康、美容にキク -----	14
空気をきれいにする、栄養を与えてくれる	
体や心のバランスを整えてくれる	
(4) イメージアップにキク -----	21
企業の姿勢、都市のオアシス認定	
2. キキメの値段 -----	23
(1) 工事の値段 -----	23
植栽工事の値段：高木 1 本、低木 1 株、芝生、花壇	
(2) 管理の値段 -----	24
植栽管理の値段：剪定の目安、芝生の目安	
3. キキメの展開 -----	25
(1) キク緑のポイント -----	25
予算管理、工事監理、維持管理	
(2) 緑の教育 -----	32
子供達が公園で学ぶプログラム例	
(3) 復興にキク緑 -----	39
震災復興プロジェクト例	
(4) 広げよう緑の“わ” -----	40
緑化助成の例	
(5) 日本の緑の復活 -----	42
人づくり、まちづくり	
あとがき -----	44

1. キキどころ

(1)エコにキク

気象緩和 ～日差しや温度をコントロールする～

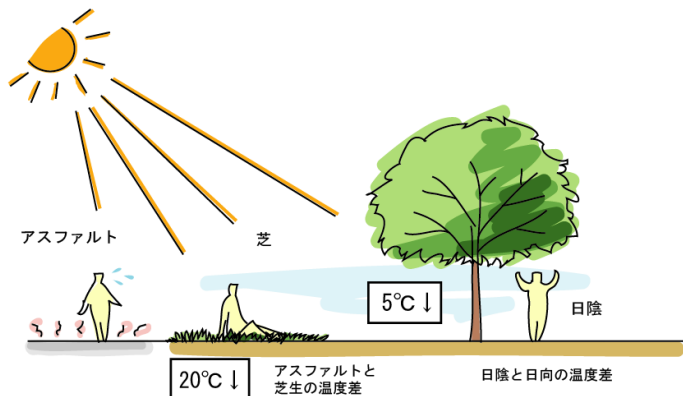
夏は涼しく、冬暖かく

林や森のように樹木が豊富な場所では、葉の蒸散作用や樹木がつくる陰のおかげであまり温度があがりません。植物は葉から水分を蒸発させるときに、周囲から気化熱を奪うため、温度上昇が和らげられます。

真夏の炎天下時には、芝生はアスファルトより 20℃も表面温度が低くなり、木陰と日向では 5℃程度木陰の方が低くなります。さらに木陰の下が芝生であれば、アスファルトとの温度差は 27℃にもなります。このように樹木や芝生などの緑があることで高温が和らぎ、気温の変化も緩やかになります。

また、樹木を密植させると、風の通りが悪くなり、空気が温まって蒸し暑い状態になることもあります。風通しを考えて植栽密度を設定することがポイントになります。

北側の日当たりが悪い場所に植栽すると、さらに日当たりが悪くなり寒くなる場合があるので注意が必要です。冬の北風が当たる場合は、風に強い“シラカシ”や“スギ”などの樹木を積極的に取り入れることで、風が当たりにくくなり室内が暖かくなります。



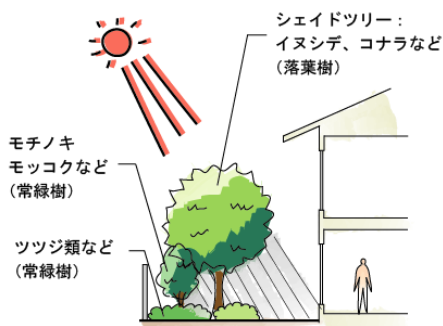
緑が太陽の暑さをゆるめる（温度差は炎天下の場合）

植栽で強い日差しを遮る

日当たりのよい部屋をつくることは、良好な住環境をつくるうえで重要な要素です。しかし、日当たりが良すぎると、夏には室温が上昇しすぎてしまいます。エアコンで室温をコントロールすることは簡単ですが、省エネが重要な現在では、資源エネルギーをできるだけ使わないように工夫することが求められています。

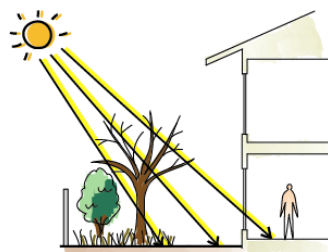
このようなときは植栽を利用して、室内に入る日差しをコントロールするのも1つの方法です。日差しが強く当たる部分に、樹木（シェイドツリー）を配置することで、日差しは和らぎ、室温を下げる効果が期待できます。ただし夏は厄介な日差しも、冬は逆に必要になります。そこで、選ぶ樹木は冬季には落葉して、日当たりがよくなる落葉樹にすることが基本となります。また、敷地の広さや形状により、シェイドツリーを植えるスペースがない場合には、“ツル性植物”を建物の壁に廻らせたり、開口部に“緑のカーテン”を設置したりすることで室内温度をコントロールできます。この場合も落葉性のツル性植物を選べば、冬には落葉して日当たりが良くなります。

夏季の日差し



夏季は落葉樹で日陰をつくることで、日差しが直接室内に入ることを防ぐ

冬季の日差し



冬季は落葉樹が葉を落とすことで、室内に暖かい日が差し込む

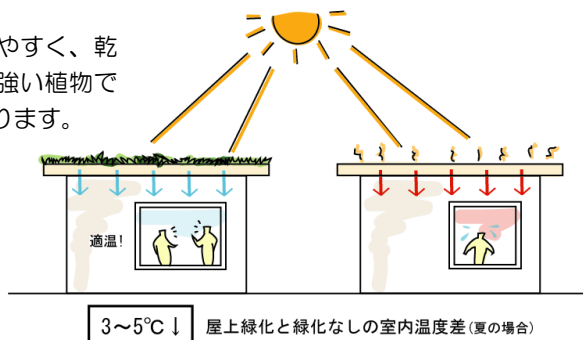
落葉樹による日差しのコントロール

屋上緑化

屋上に植栽すると、建物の断熱効果と同時に、水分の蒸発作用から周囲の冷却効果が期待できます。建物の寒暖を緩やかにする省エネルギーと、都市のヒートアイランド化を防ぐ意味で、小規模な建築でもよく行われるようになりました。

屋上を緑化した場合と、緑化していない場合の室内の温度を比較すると、夏の暑い時期でおよそ3～5℃も低くなります。そして、屋上を緑化することでエアコンの電力消費は通常5～7割に削減できるとされており、光熱費の削減につながります。

また、屋上は風を受けやすく、乾燥しがちなので、乾燥に強い植物で構成すると管理が楽になります。



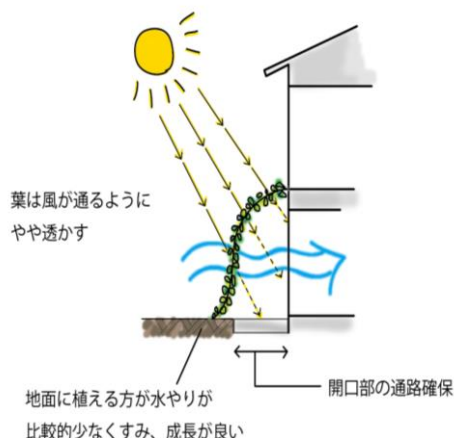
壁面緑化

壁面を緑で覆うことで、断熱性向上、騒音低減、大気浄化などのさまざまな効果が生まれます。それぞれの効果を発揮する工業製品はいくつもありますが、これらの効果を全て一つで賄うことができるのが壁面緑化の最大の特徴です。さらに壁面を植物で覆うことで、季節ごとに意匠が変化する新たなデザインを作り出すことができます。

壁面を緑化した場合、建築物壁面では10～30℃、周辺の気温は2～5℃も低くなります。壁面をツタで覆うだけで、エアコンの電力消費が4割近く削減できるとされており、電力消費削減のため緑のカーテンが推奨されたことは記憶に新しいです。

壁面緑化は、蔓やツタで覆う簡易な手法から、基盤を造成しさまざまな植物を導入する手法までいろいろなタイプがあります。

灌水や管理方法も含めて、どのようなタイプにするのか検討することが重要です。



体感温度を調節する

五感を刺激することで体感温度や感覚温度をコントロールできます。

例えば、軒先につるした風鈴の音色の涼しさを感じるように、風にそよぐ葉ずれの音は涼やかなイメージを与えてくれます。葉音が柔らかい樹木には“ソヨゴ”や“アカシデ”があります。



ソヨゴ



アカシデ

視覚的な要素では、色の濃いものは暑苦しさを感じさせます。常緑樹の葉は色の濃い種類が多いので、暖かさを演出するには効果的です。

また、“ソテツ”や“カナリーヤシ”のようなトロピカルな種類も印象で暑さを感じる典型的な樹木です。逆に涼しさを演出するには葉色の薄いものを選びます。落葉広葉樹の“カエデ類”や“コナラ”などがよいでしょう。



ソテツ



カエデ



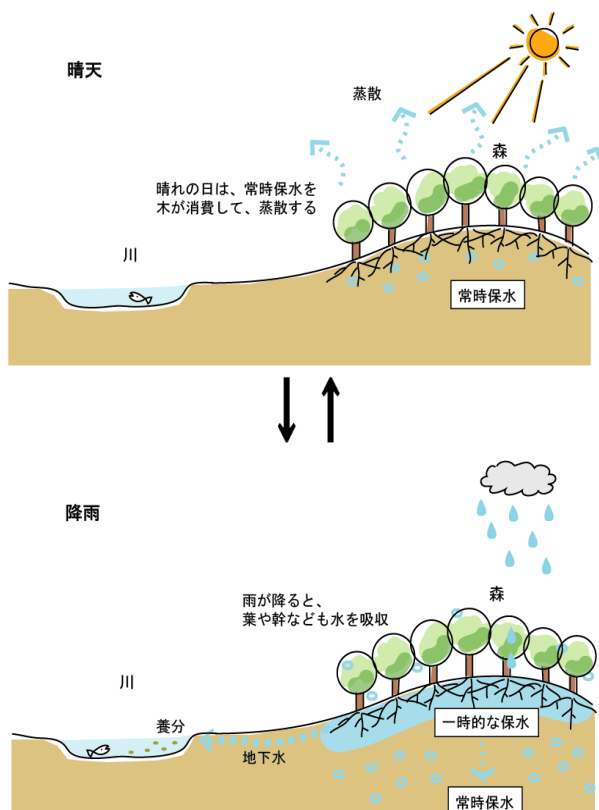
コナラ

水循環

森の保水力

森は、光合成をするのに大量の水を必要とするため、つねに土壤に保水しています。そのため、多少乾燥が続いても地中深くに保水した水を吸い上げることができます。一方、地下の木の根のまわりには、雨が降ったときに一時的に雨水を保水するはたらきがあります。この2つの保水力より、洪水や山くずれが防げると言われています。

また、森が常時している保水は、森自身が消費して大気に返してしまいましたが、一時的に保水された水は、徐々に地下に流れ込み、養分をとかしながら地下水となってゆっくり川から海へと流れていきます。このように、地下水が川や海に養分を運んでいるため、近くに山があると魚がよくとれると言われています。

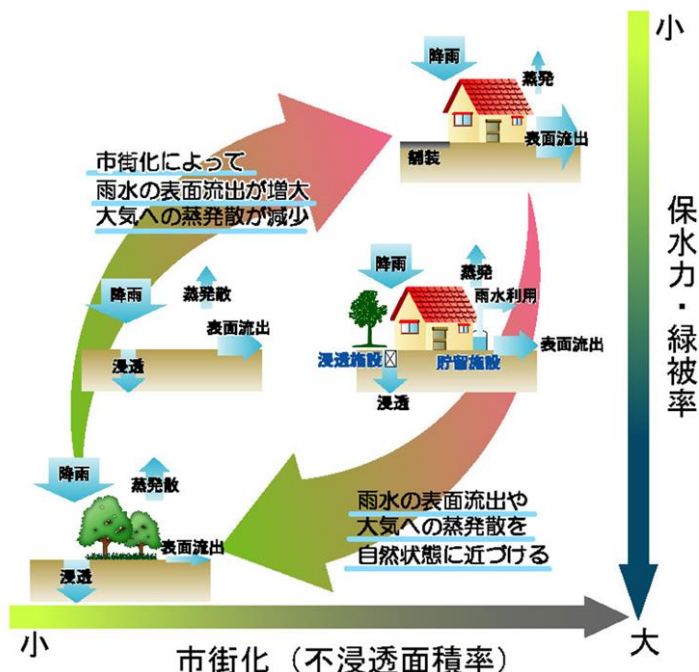


都市の保水力

都市化が進むにしたがって、森林や水田・畑地がなくなり、地表がコンクリートやアスファルトで覆われることにより、雨が土にしみ込みにくくなります。そのため、従来はゆっくり河川や下水道に流れ込んでいた雨水が一気に流出するようになり、都市での浸水被害が起こりやすくなります。

都市の緑は、その葉っぱや枝で雨を遮断（樹幹遮断）することにより、雨水の流出量（表面流出量）を減らしその流出速度も遅らせることができます。また、植物が植えられた土壌はその透水性・保水性を向上させることも可能です。

都市に緑を増やすことは、都市全体の保水力を向上させて雨水をゆっくり流出させることにより、治水や自然な水循環の回復にもつながります。



風環境調整

心地よい風を室内に

風は室内外の気温をコントロールするのに重要な要素です。室内に入る風が樹木の間を通過すると、新鮮な空気や湿度が含まれ、より快適なものになります。

季節の風を呼び込む植栽は、気象データをもとに考えます。春から夏に入ってくる風に対して壁をつくらないう、樹木を点在させて植栽するとよいでしょう。風通しをよくするために、葉の付き方が密でないものを選びます。落葉広葉樹の“カエデ”や“エゴノキ”、“ヒメシャラ”や“マユミ”などをおすすめします。ただし、これらは強風の当たる場所には不向きですので、そのような場所では少し手前に常緑樹を置くなどして、風を弱めるとよいでしょう。



エゴノキ



ヒメシャラ



マユミ

また、常緑広葉樹の“スタジイ”や“ヤブツバキ”、針葉樹の“スギ”や“マツ”のように葉と葉の間が密な樹種は、風通しをよくする植栽には向きません。ただし、落葉樹だけの庭は味気ないので、“シラカシ”や“ソヨゴ”など葉があまり密でない常緑広葉樹も利用するとよいでしょう。



スタジイ



アカマツ



シラカシ

迷惑な強風を防ぐ

冬の北風や海風、山風など、地形や季節によって起こる強風や、高層建物周囲に吹くビル風などは迷惑な風といえます。これらの風を防ぐためにも樹木を活用します。

まず、風に強い樹種を選ぶことが基本です。関東南部では“クロマツ”や“イヌマキ”、関東北部や寒冷地では“シラカシ”などをおすすめします。



クロマツ



イヌマキ



シラカシ

東京・新宿副都心の高層ビル周辺には防風植栽として、“クスノキ”や“スダジイ”、“タブノキ”や“ヤマモモ”などが植栽されています。常緑の広葉樹や針葉樹は、風に強い性質をもつ種類が多いのですが、風の温度で選ぶ樹種も変わるので、その地区の微気候を確認するようにします。



クスノキ



タブノキ



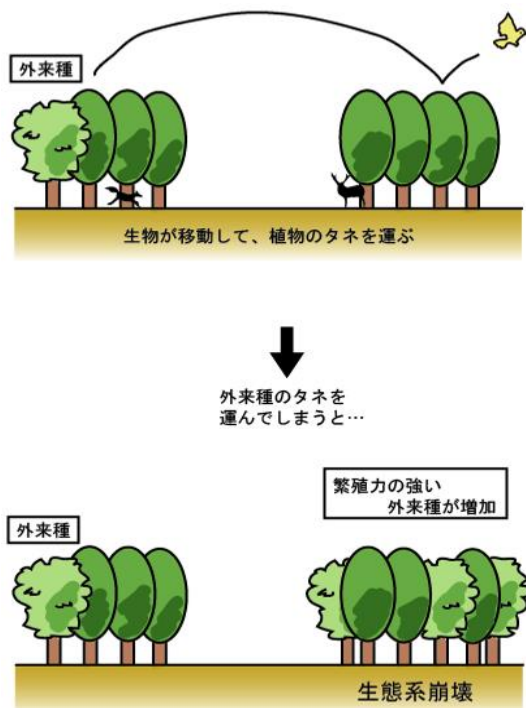
ヤマモモ

地域生態保全及び復元

地域生態の保全につながる

気候が変動し、サクラの開花時期が変化している中、亜熱帯を好む植物が都市部で普通に見られるようになりました。また、流通が急速に変化したことで、かなり早いスピードで外来植物が出現しています。そこで、生態系が保たれているところでは、その地域の生態系を乱さない植物を選ぶことが必要です。身近な例から考えると、住宅地の庭や生垣などは、なるべく在来種、繁殖力の少ないものを選びます。都会の庭の場合では、「潜在自然植生」（かつてあったであろう緑のこと）の種類をベースにして選びます。

日本は植物に恵まれ、日本の気候は植物にとってパラダイスであるため、何かのきっかけで別の植物がウイルスのように繁殖するかもしれない環境にあります。そのため、きれい、珍しい、値段が安い、すぐ緑になるからという理由で安易に植えてはいけないものがあるということ覚えておいてください。

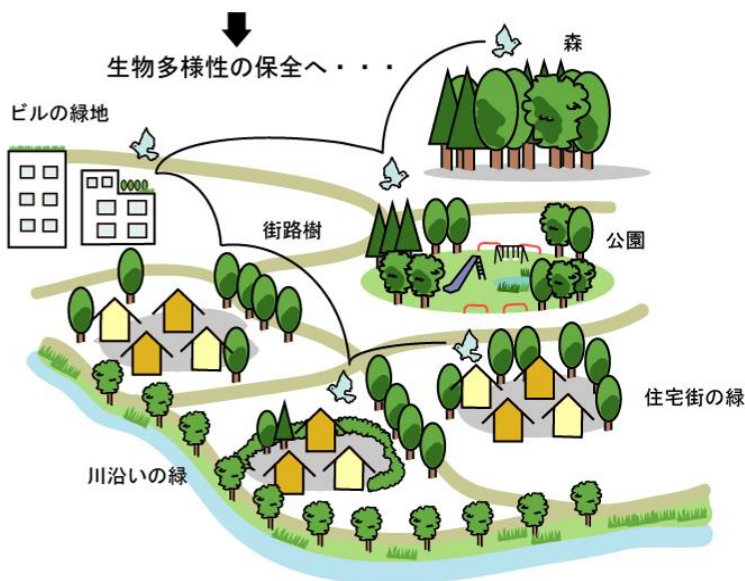


地域生態の保全から復元へ

身近な場所に昆虫や野鳥が訪れる多様な緑をつくることで、生態系の保全に貢献するほか、私たちは緑とのふれあいから、癒しを直に感じることができるようになります。しかし、地域に孤立した緑があっても、単独では多様な野生生物の生息・生育環境として必ずしも十分ではありません。それでは、生態系を保全から復元へつなげていくためには、具体的にどうすればよいのでしょうか？ 大切なのは、緑を孤立したばらばらの状態にしないことです。例えば、家庭や街路樹などの身近な緑から、さらに緑が多い都市公園や中小の河川、道路や耕地の樹林など、そして海岸や里山のような大きな範囲の緑へとつなぎ、結びつけます。これによって野生生物の採餌や繁殖、移動、他集団との交流が可能となり、彼らにとって生息・生育しやすくなります。(ただし、飛び石状であっても種によっては有効な場合もあります。)

このように、地域で緑のネットワークを広げ、生物が生息・生育できる環境を徐々に整えていくことで、生態系保全から復元へとつながっていきます。

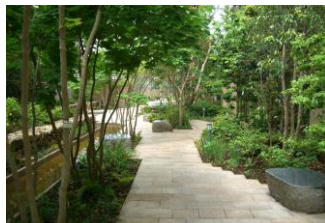
つながる緑で生物が生息・生育できる自然環境を保つ



(2)人集め・町おこしにキク

景観づくり

都市部において、コンクリートとアスファルトに覆われた街並みというのは味気ないものです。植栽することで、豊かな街並みを創り出すことができます。それには地域の特性を理解して、テーマを設定し、統一性をもった植栽を行うことが重要です。



緑豊かに整備された遊歩道

緑のイベントづくり

緑の空間は子供たちへの環境教育や、地域住民同士のコミュニケーションの場を提供します。例えば、ビオトープでの定期観察会やイベントは、地域の人たちとのつながりを深めることに繋がるでしょう。また、里山などでの体験イベントを田舎で開催して、都内在住の人々を呼び込んでいるところもあります。自然を学ぶ場、里山在住の人との交流の場となっており、田舎での町おこしとして、取り入れられています。

季節限定ではありますが、花や紅葉などのイベントは全国に数多くあります。花見や紅葉狩りは、日本人が好きなイベントのひとつですので、多くの集客力を見込めます。そのため観光名所づくりとしても、多くの自治体で取り入れられています。

今回は、全国にある花見や紅葉イベントの一例を紹介します。



里山体験イベント



花見イベント

～人があつまる花見・紅葉イベント例～

- 花木・紅葉 -

◎梅

- 茨城県水戸市「水戸の梅まつり」

2月下旬 - 3月下旬

(動員数 約 57 万 8 千人)



◎桜

- 東京上野「うえの桜まつり」

3月中旬 - 4月上旬

(動員数 約 200 万人)

- 静岡県賀茂郡河津町「河津桜まつり」

2月上旬～3月上旬

(動員数 約 150 万人)



◎あじさい

- 神奈川県「箱根あじさい電車」

6月中旬 - 7月中旬

(動員数 約 34 万 8 千人)



◎藤

- 栃木県足利フラワーパーク

「藤まつり」

4月中旬 - 5月中旬

(動員数 約 43 万人)



◎モミジ

- 千葉県成田市「紅葉まつり」

11月中旬 - 12月上旬

(動員数 集計なし)

- 武蔵丘陵森林公園「紅葉見ナイト」

11月上旬-12月下旬

(500 本、動員数 約 5 万人)



- 草花 -

◎菜の花

- 長野県「いいやま菜の花まつり」

5月上旬

(約800万本 動員数 約2万1千人)

◎芝桜

- 群馬県「みさと芝桜まつり」

4月上旬 - 5月上旬

(26万株、動員数 約6万5千人)

◎アイリス(菖蒲)

- 東京都葛飾区「葛飾菖蒲まつり」

6月上旬 - 下旬

(水元会場：動員数 約36万人、
堀切会場：動員数 約10万人)

◎バラ

- 神奈川県 ヴェルニー公園

「春のローズフェスタ」5月中旬

(動員数 約5千人)

◎ポピー

- 神奈川県 くりはま花の国

「ポピーまつり」4月中旬-6月上旬

(動員数 約3万人)

◎ひまわり

- 東京都清瀬市

「清瀬ひまわりフェスティバル」

8月中旬～9月上旬

(動員数 集計なし)



—植物の展示会—

◎らん

- 東京ドーム「世界らん展日本大賞」

2月中旬～2月下旬 (動員数 約20万人)

◎バラ

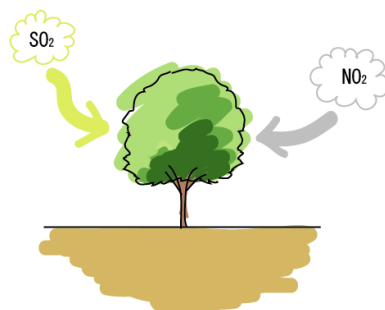
- 西武プリンスドーム「国際バラとガーデニングショウ」

5月中旬 (動員数 約20万人)

(3)健康、美容にキク

空気をきれいにする

人が健康であるためには、きれいな空気が必要です。樹木には、工場や自動車などから排出される二酸化窒素（ NO_2 ）や二酸化硫黄（ SO_2 ）などの大気汚染物質を吸収し、大気を浄化する働きがあります。



樹木が大気汚染物質を吸収

大気浄化に適した植栽

植栽で大気浄化効果をあげるためには、まず大気浄化に適した樹種を選定します。（次ページの表を参照）

選定の際には、景観や風土の特性など植栽地に求められるその他の機能にも配慮し、常緑樹と落葉樹を組み合わせます。そして、効果が最大となるよう葉量を多く確保することが必要です。高木・中低木を組み合わせると多層構造にする方法が望ましいですが、敷地によっては1本の樹木を大きく、のびのびと育てるほうが葉量が豊富で、樹勢も旺盛であり大気浄化には効果的な場合もあります。そのため、植栽スペースの実状に合わせて、より大きな緑量を確保できる植栽方法を選択するようにします。



大気浄化植樹のための樹種リスト（関東周辺）

	比較的大気汚染濃度レベルの低い地域 （住宅地など）
高木 3m 以上	（常緑樹） ヤマモモ、ウバメガシ、シラカシ、アラカシ、スダジイ、モッコク、カクレミノなど （落葉樹） エゴノキ、エノキ、ケヤキ、コナラ、コブシ、サルスベリ、ハクモクレン、ネムノキ、モミジバズカケノキなど
中木 1m以上 3m未満	（常緑樹） ニオイヒバ、イヌツゲ、カナメモチ、キョウチクトウ、サザンカ、サンゴジュ、マサキ、など （落葉樹） ウメ、シモクレン、ハナズオウ、マユミ、など

※対象地域の大気汚染状況によって、樹種剪定のポイントを大気浄化能力に置くか、大気汚染耐性に置くか異なります。上記の表は、大気浄化能力にポイントを置いた、比較的大気汚染濃度レベルが低い住宅街などの場合です。

参考図書「大気浄化植樹マニュアル」(独)環境再生保全機構 パンフレット



カクレミノ



モッコク



ケヤキ



サルスベリ



イヌマキ



マサキ（斑入り）



ハナズオウ



シモクレン

栄養を与えてくれる

薬草となる身近な植物

昔の人々は、植物を薬草として利用していました。
わたしたちの身近な所には、様々な効能をもつ植物があります。

【高中木】

アカマツ(葉：冷え性等) ・ウメ(果実：胃潰瘍、食欲不振等)
ザクロ (果実：更年期障害等) ・ビワ(葉：喘息、皮膚炎等)
ホオノキ(樹皮：利尿、健胃等)



アカマツ



ウメの実



ザクロの実



ホオノキの樹皮



ビワの実

【低木】

ナンテン (果実・葉：喘息、のどの痛み等)
ハマナス (花・果実：下痢止め、低血压等)
ブルーベリー (果実：眼精疲労等)



ナンテンの実



ハマナスの花



ブルーベリーの实

【ツル植物】

アケビ (つる・果実：腎臓病、むくみ等)

スイカズラ (茎葉・花：利尿、解毒等)

ヤブガラシ (全草：利尿、虫刺され等)



アケビのつる



スイカズラの花



ヤブガラシ

【野草】

アキノキリンソウ (全草：かぜの症状の緩和等)

アザミ (根：胃痛、湿疹等)

キキョウ (根：咳止め、気管支炎等)

ドクダミ (全草：利尿、整腸、解毒等)

ユキノシタ (葉：やけど、しもやけ等)



アキノキリンソウ



アザミ



キキョウ



ドクダミ



ユキノシタの葉

薬湯・健康湯になる身近な植物

一般的に薬湯は、保温・保湿・発汗・芳香・美肌などの作用がある植物中の精油成分などにより、普通のお湯による入浴よりも温浴効果を数倍高めてくれます。

【針葉樹】

マツの葉浴、ヒノキの葉浴、ヒマラヤスギ、イヌマキ



アカマツ



ヒノキ



イヌマキ

【広葉樹】

ユズ、キンモクセイ、タブノキ、シダレヤナギ



キンカン



キンモクセイ

【野草類】

ヨモギ、ハス、スギナ、ツワブキ



ハス



スギナ



ツワブキ

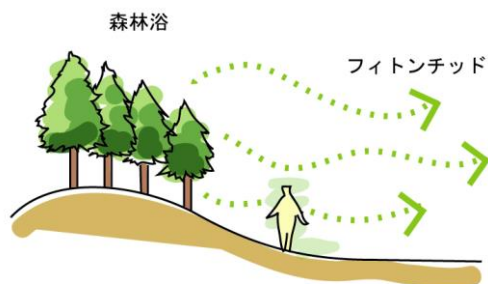
～マツ湯レシピ～

200g（家庭の浴槽の場合）の松葉を、ぬるま湯でよく洗い、樹脂成分を落とします。その後、鍋に水から火にかけて15分ほど煮ます。煮汁のみを布でこして浴槽に加えます。**神経痛・肩こり・腰痛**に効きます！

体や心のバランスを整えてくれる

森林浴

森の中では、空気が澄んでいるような感覚を覚え、さわやかなリラックスした気持ちになります。これは、森林に漂っている独特の森の匂いの効果であり、樹木や草花から放出される「フィトンチッド」という揮発性の物質のことです。「フィトンチッド」は、科学的にも人の疲労回復や精神的緊張感の軽減効果があると実証されています。また、森林浴が健康法であるのに対し、森林浴の健康効果を科学的・医学的に検証し、これに基づいたプログラム等で行われる森林療法のことを森林セラピーといいます。



リラックス効果

ハーブの効能

ハーブとは“人間の生活に役立つ自生植物”です。「香草＝ハーブ」というわけではありません。とても丈夫な植物で、種や苗も入手しやすいため、家庭で手軽に育てられます。ハーブには、体や心のバランスを整える様々な効能があります。

安眠

ラベンダー、カモミール

心を落ち着ける作用



ラベンダー



カモミール

風邪

カモミール、タイム

炎症や咳を抑える作用



タイム

花粉症

ペパーミント、ローズ

継続して飲むと抵抗力がつく



ミント



ローズ

リフレッシュ・リラックス

ミント、レモングラス、ラベンダー

香りをたのしむ



ローズマリー

貧血

ローズマリー、レモングラス、
ローズヒップ

鉄分の吸収を促す効果



ローズヒップ

ダイエット

セージ、フェンネル、ステビア

消化促進効果



セージ



フェンネル

湿疹・かぶれ

マリーゴールド、ローズ、
カモミール

殺菌・抗菌作用



マリーゴールド

(4) イメージアップにキク

企業の姿勢

環境経営、CSR（企業の社会的責任）推進の具体的な取り組みのひとつとして、緑を良好に整備し、マネジメントする活動があります。

この活動により、街並みや居住環境の質や価値を向上させ、ひいては企業のイメージアップにつながります。

都市のオアシス認定

四季を感じる緑・花の彩りや鳥や昆虫たち等の生き物とのふれあい、木陰、そよ風、ひだまり、憩いの場の提供等、アメニティの向上に役立つ都市の『みどり』を都市のオアシスとして認定することにより、事業者の積極的な『みどり』の取り組みを評価します。



2015 年 都市のオアシス 「たのしみ緑」 認定サイト

● 緑上にある緑地もあります
● 緑上にある緑地もあります

※ 公開時間のデータは夏期の内容です。季節、曜日、天候の状況により公開時間が異なる場合があります。

 丸の内パークビルディング 三菱一号館 東京都千代田区丸の内 2-6-2 6:00～24:30、年中無休 ■ 三菱地所株式会社 木陰やカフェテラス、水景が織りなす、心からやすらぐ憩いのできる空間です。 緑上	 新宿マライ本館 屋上庭園 Q-COURT 東京都新宿区新宿 3-30-13 11:00～20:00、店舗休日に準ずる ■ 株式会社丸井グループ 都心とは思えない本格的な英国式庭園。四季の花を楽しみながらゆっくり休憩できます。 緑上	 コビス吉祥寺 吉祥空間 sora 東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-8-16 10:00～21:00、店舗休日に準ずる ■ 一般財団法人武蔵野市開発公社 武蔵野の雑木林をテーマとした庭園は、懐かしい里山の姿で来園者の心を癒します。 緑上	 東京ミッドタウン 東京都港区赤坂 9-7-1 他 5:00～23:00、年中無休 ■ 東京ミッドタウンマネジメント株式会社 広々とした芝生広場を中心に、芸術鑑賞、グルメと、一日中ゆっくりとできる緑地です。 緑上	 ホテル椿山荘東京 庭園 東京都文京区関口 2-10-8 10:00～21:00、年中無休 ■ 藤田観光株式会社 都会の森の美しさ、水景の奏でるせせらぎが心に潤いと癒しをもたらす回遊式の庭園です。 緑上	 伊勢丹新宿本店 屋上アイ・ガーデン 東京都新宿区新宿 3-14-1 10:30～18:00、店舗休日に準ずる ■ 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 空と芝とみどりを思いっきり感じる、『植物と暮らし』をテーマにしたガーデンです。 緑上	 ThinkPark Forest 東京都品川区大崎 2-1-1 終日公開、年中無休 ■ 株式会社世界貿易センタービルディング ■ 株式会社明電舎 東京湾から心地良い風が通り抜ける、木々が優しく迎えてくれる都会の森です。
---	--	---	--	---	--	--



晴海アイランド トリントスクエア

東京都中央区晴海 1-8
終日公開、年中無休
■ 晴海アイランドトリントスクエア

みどりの恵みを五感で感じられる、運河に面した心も体も開放されるガーデンです。 + 右上



Granpark (グランパーク)

東京都港区芝浦 3-4-1
終日公開、年中無休
■ NTT都市開発株式会社
■ 日通商事株式会社

株立ちの木々の葉がそよ風に優しくなびく、雑木林のあたたかみを感じる緑地です。 + 右上



住友商事竹橋ビル

東京都千代田区一ツ橋 1-2-2
終日公開、年中無休
■ 住友商事株式会社

ハーブガーデンやシェードガーデンなど、環境や目的に合わせた多様な緑の空間です。 + 右上



東急プラザ表参道原宿

東京都渋谷区神宮前 4-30-3
8:30～23:00、店舗休日に準ずる
■ 東急不動産株式会社

ケヤキ並木の緑をつなぎ、果箱やバードバスで小鳥を呼び込む天空の森です。 + 右上



六本木ヒルズ

東京都港区六本木 6-10-1
7:00～23:00、年中無休
■ 森ビル株式会社

都心にいながら四季を色濃く感じられ、気持ちの良い風景を楽しめる緑地です。 + 右上



三井住友海上駿河台ビル 駿河台新館、ECOM駿河台

東京都千代田区神田駿河台 3-9、3-11-1
ECOM駿河台 10:00～17:00、土日祝休
新館 10:00～17:00、土日祝休
■ 三井住友海上火災保険株式会社

生物多様性のあり方を多くの人に伝える、『いきもの』にやさしいガーデンです。 + 右上



KITTE ガーデン

東京都千代田区丸の内 2-7-2
11:00～22:00、店舗休日に準ずる
■ 日本郵便株式会社

東京駅丸の内駅舎や電車の発着風景を目の前に、広がる芝生、風が心地良い屋上庭園です。 + 右上



赤坂インターシティ・ ホームマートバイカウント

東京都港区赤坂 1-11-44
終日公開、年中無休
■ 新日鉄興和不動産株式会社

都会とは思えない緑豊かな自然を享受できる、せせらぎが聞こえる閑静な空間です。 + 右上

都市のオアシス



なんばパークス パークスガーデン

大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70
10:00～24:00、店舗休日に準ずる
■ 南海電気鉄道株式会社 ■ 株式会社高島屋

四季を感じる草花や木々に優しく包まれる空間は、心に喜びを届けてくれる緑地です。 + 右上



ウェルカムガーデン新大阪 「大阪花屏風」

新大阪駅 3 階タワースーペー市場横デッキ部
終日公開、年中無休
■ 大和リース株式会社

たくさんのみどりに囲まれ、水が流れる、憩いながらのツーリストスポットです。 + 右上



「新・里山」 「希望の壁」

大阪府大阪市北区大淀中 1-1-88
梅田スカイビルグリーニスト
終日公開、年中無休
■ 横水ハウス株式会社

緑の壁、雑木林に包まれた里山空間は、多くの小鳥が唄い、蝶が舞う、心を癒す緑地です。 + 右上



あべのキューズモール ガーデンエリア

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-6-1
10:00～23:00 公開、年中無休
■ 東急不動産株式会社

開放感あふれる緑の空間は噴水の清涼感と心地良い風、季節感を楽しめる緑地です。 + 右上



【都市のオアシス】の詳細は
<http://seges.jp>

2. キキメの値段

(1) 工事の値段

植栽工事の値段

植栽工事の値段は、敷地の条件、土壌、樹種・規格・数量によって、さまざまに変化します。周辺の環境を観察し、植栽の目的にあった樹木を選ぶことが重要です。

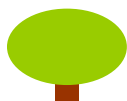
植栽工事の目安…材料代＋工事費（植栽手間・運搬・諸経費）



高木

高さ 2.5m～

ex.ヤマザクラ	約 22,000 円/本
クスノキ	約 25,000 円/本



低木

高さ 0.3～1m

ex.サツキツツジ	約 2,500 円/株
アジサイ	約 3,000 円/株



芝生

ex.コウライシバ	約 1,500 円/m ²
-----------	--------------------------



花壇

ex.ビオラ 5ポット	約 1,200 円/m ²
-------------	--------------------------



ヤマザクラ



クスノキ



サツキツツジ



アジサイ



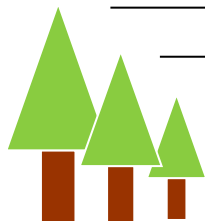
ビオラ

(2) 管理の値段

植栽管理の値段

栽管理も植栽工事と同様で、敷地の条件、土壌、樹種・規格・数量によって、値段がさまざまに変化します。

剪定の目安

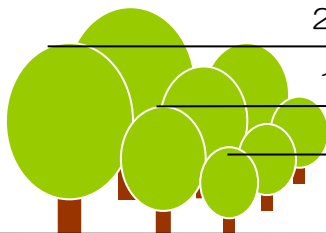


5～7m 約 15,000 円/本

3～5m 約 6,000 円/本

0～3m 約 3,000 円/本

植込剪定の目安

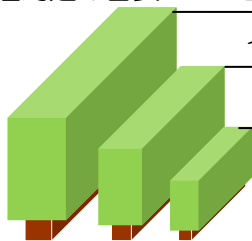


2～3m未満 約 1,200 円/m²

1～2m未満 約 500 円/m²

1m未満 約 200 円/m²

生垣刈込の目安



2～3m未満 約 2,000 円/m²

1～2m未満 約 1,000 円/m²

1m未満 約 500 円/m²

芝生の目安



芝刈り 約 250 円/m²

施肥 約 50 円/m²

目土掛け 約 200 円/m²

除草 約 200 円/m²

3. キキメの展開

(1) キク緑のポイント

こんなことをしているとキカナイ！

その地域、場所に適していない植物を植えるのはキカナイ！

例えば、日が当たらない場所に光を好む植物を植えたり、将来高くなる木を建物の近くに植えたりすると、植物にとっては大きなストレスとなります。そのストレスが原因でいずれ枯れてしまいます。

植えっ放しにするとキカナイ！

植物はきちんと管理すれば、驚くほど長持ちします。毎年、決まった時期に剪定を行えば、見た目もキレイに保つことが出来、病虫害の予防にも繋がります。



予算管理について

庭の大きさに対する工事費の目安は…？

25㎡の庭（15畳くらいの広さ）で、3mの高木1本、低木16株、芝生20㎡を植えると100,000円ぐらいかかります。例えば、家の周囲をフェンスで囲うのをやめて、ベニカナメモチの生垣に変えるだけで、フェンスに比べて施工費が約70,000円は安くなります。その場合、剪定の手間がかかりますが費用は専門業者に頼んで1回20,000円くらいでできます。自分で剪定をしたら、もちろんタダになります。



ベニカナメモチの生垣
(写真はレッドロビン)



庭の植栽

工事管理について

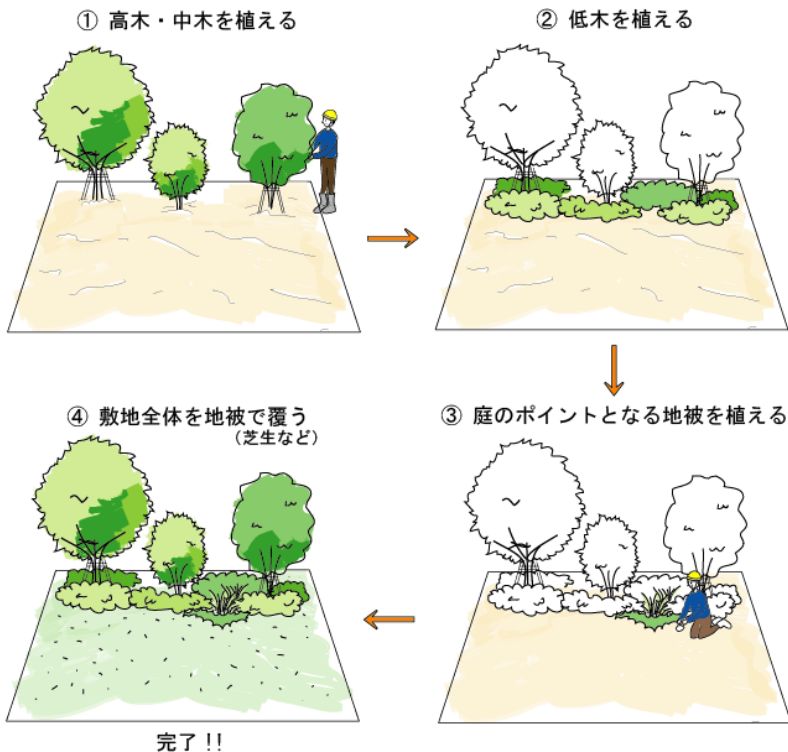
植栽設計が終わると、次に植栽工事に移ります。植栽工事は建物の工事があらかた終了してから行うのが理想です。

建物の工事と同時進行すると、外壁仕上りの塗装が樹木にかかったり、設備機器の搬入で樹木が踏みつけられたりするなど、樹木が痛む原因となるからです。

植栽工事の基本的な手順

基本的な植栽工事の流れは、植栽する場所を整備し、高木⇒中木⇒低木の順に植え、土の表面を均して完了にします。

樹木を植える前に行う場所の整備は、“植物の生長に適した土壌や地形をつくる、さらに植物や資材の運搬動線の確保し、土などで汚れないように養生するため”に行います。

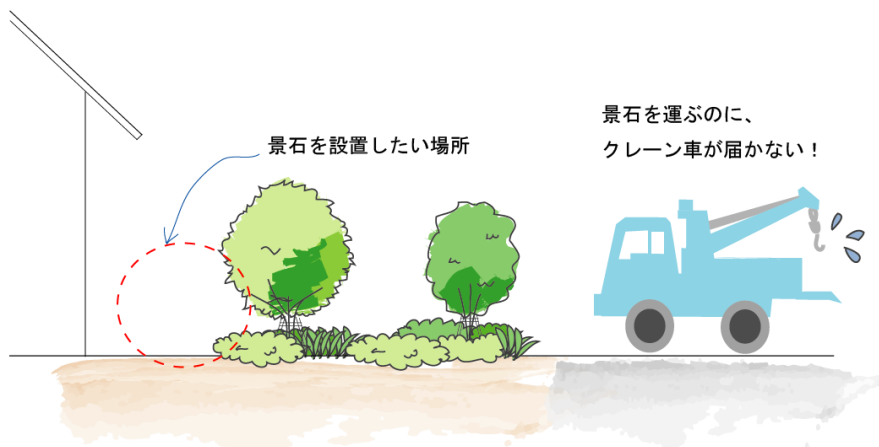


植栽を植える基本的な流れ

植栽工事の前後に行う作業

植栽工事は、植物を植えつけ、整地するまでの一連の作業をいいますが、植栽だけで外構空間がすべて整う場合は少なく、修景や管理のために他の工事とも同時、あるいは前後に進める必要があります。

植栽工事の前に行うべき作業のひとつは、築山、景石、石積など修景にかかわる添景物の設置です。石や土は非常に重量があるため、人力だけで移動するのが難しく、植栽後では作業スペースが確保できないことがあります。



また、電気、ガス、水道などの配管も植栽工事の前に行います。庭園灯を設置する場合、器具自体は植栽後でも可能ですが、土中部分に配線しておかなければ、せっかく植えた樹木を掘り返すはめになります。滝や水路、つくばい、手水鉢を設置する場合は、水道の配管工事を先に行います。樹木の水やりのための水栓を設置しておくことも大切です。

建築工事との調整がキー。
配線や配管工事は植栽工事前
の完了させておきます!!



建築工事終了間近に、植栽工事にかかわる材料を搬入しますが、想定外の事情でスムーズに作業できない場合がありますので、植栽工事の直前までに搬入口を再確認しておくといよいでしょう。例えば、建物が建った後、建物奥の植栽工事を行う場合、樹高が4m以上の樹木は屋外から搬入します。搬入経路が確保できない場合、屋根の上を通すことになるので、手間とコストがかかってしまいます。

そのほかの植栽工事前のチェックポイントは、下のリストを参考にしてみてください。リストのような点を確認したあと、問題があれば樹種を変えたり植栽デザインを検討し直します。

そして、植栽工事の後に行うのは、砂利などの舗装仕上げです。植栽工事の中では土がこぼれ汚れる可能性があるため、必ずこのタイミングで行います。



☒ 植栽工事前の施工関連チェックポイント

- ☐ 樹木の搬入経路が確保されているか？
- ☐ 軒の出が樹木の運搬を妨げないか？
- ☐ 駐車スペースの仕上げはなにか？
- ☐ 道路との境界の状況（段差の有無など）
- ☐ 設備配管が植栽場所に埋められていないか？
- ☐ 庭の出入り口の位置や扉が開く方向はどうなっているか？
- ☐ 庭に設備配管や建築工事の際にでたコンクリートガラや碎石が埋まっていないか？
- ☐ エアコンの室外機が植栽場所の近くに設置されていないか？

維持管理について

植栽工事が終わった後の管理

植栽直後の植物は、根が切られたり、傷んだりしているため、水を吸い上げる力が低下しています。管理のポイントは、植栽工事直後からしっかり水をやることです。植栽工事完了後、入居までに期間があく場合には、誰が水やりをするのかを決めておく必要があります。

水遣りの基本



樹木の根の先まで水が届くよう、しっかりとかける。中木ならば5分程度が目安

不適切な水遣り



表面が濡れる程度では、土中の根まで十分に水が行き渡らないのでNG!

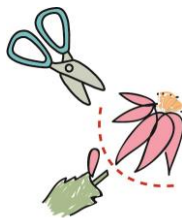
また、大規模な植栽工事の場合は大抵、施工会社と“枯れ保証”の契約が行われます。枯れ保証とは、工事の一年以内は、持ち主がしっかり管理しているにもかかわらず植物が枯れてしまった場合に無償で植え直すというものです。植栽工事を契約する際に、保証の有無と、保証の範囲などについて確認しておきます。

季節の管理

植物の管理は、植栽工事が終了すると同時に始まります。管理内容は、水やり、剪定が中心になります。

●春の管理（3～6月）

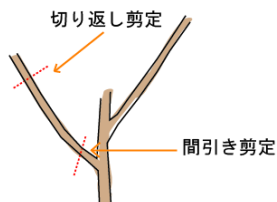
花が咲く種は、咲き終わった花殻をこまめに摘みます。雑草が発生し始めるので、早いうちから除草をします。



花殻摘み

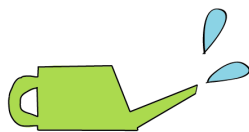
●初夏の管理（6～7月）

本州は梅雨に入り、水やりの世話はほとんどなくなりますが、病気や虫が発生しやすくなります。春に花が咲き終わった樹木については、込み合った枝や葉を間引きます。害虫は、こまめにチェックして早期に取り除きます。



●夏の管理（7～9月）

暑い日が続くので、最大のポイントは水やりです。表土が乾いたら水をやるというのが基本です。この時期に活発に生長する植物は少ないので、植栽工事には不向きです。とくに寒冷地原産の針葉樹の移植は避けます。



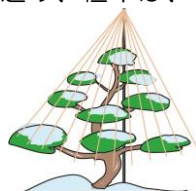
●秋の管理（10～11月）

落葉が始まると頻繁に清掃を行います。葉が堆積することで、土の乾燥を防ぎ、保温効果もあるので、株もとに少し残しておいてもよいでしょう。果樹やバラなどは施肥に適した時期です。生長しすぎた枝は剪定して整えます。熱帯原産以外の樹木は植栽の適期です。



●冬の管理（12月～2月）

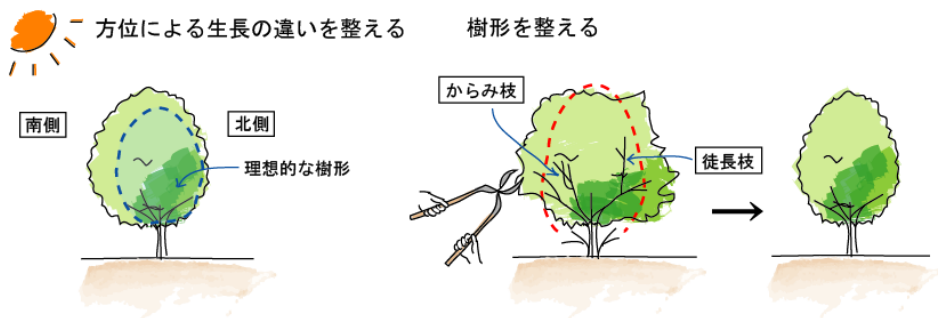
多くの植物は休眠期に入ります。霜が多い地域では霜除けとしてムシロや枯葉で地表面を覆います（マルチングします）。また、ソテツなどの暖地性の植物は、寒風が当たる場所では寒冷紗や菰巻き（ムシロ巻き）などを設置します。多雪地帯は雪吊り、雪避け、低木は、束ねたりして雪対策をします。



長期管理のポイント

植栽後、1～2年くらいで徒長枝（とちょうし）や、絡み枝が伸びます。樹形が乱れるので、余分な枝を剪定します。植栽から1～2年の間は、環境に適應するのに時間がかかるため、樹木の生長が鈍いですが、3年も経過すると、環境に合っていればぐんぐん生長します。

植物は通常、日が当たる方向に向かって枝を伸ばし、葉を繁らせます。そのため、樹木の南側や西側ばかりがボリュームを増し、全体のバランスが悪くなることがあります。剪定は、そのバランスを整えるように行くとよいでしょう。若木ならば、早春や晩秋に大きく掘り上げて回転させる方法もあります。



また、時間の経過によって、地面が締め固まって水はけが悪くなり、根が伸びにくくなって、植栽全体の調子を落とすことがあります。そのときは、適宜土を耕して、土中に空気を送り込むようにします。

樹木は、高さや枝ぶりは剪定によってある程度コントロールは可能ですが、幹の太さを変えることはできません。植物図鑑などで事前にどのくらい生長するかを把握しておくことが大切です。

雑木などの株立ちは、幹が太くなってきたら思い切って地際から一番太い幹のものを切って更新します。



(2) 緑の教育

公園でできること

「教育」と聞くと、学校で行われるものという印象が強いですが、緑に関する勉強は様々な場所で行われています。都市公園や都市郊外の公園では、各公園の特質にあった環境プログラムが実施されています。

実際に見て、聞いて、触ってと五感を使って、学習したものは印象に残ります。体験型プログラムを実施することで、自然環境に対する興味を促すことができます。



昆虫採集方法の紹介(くりはま花の国)



オリジナル図鑑の作成(くりはま花の国)

それでは次に、実際に行われた小学生低学年向けの体験プログラム（主催：くりはま花の国）と、公園緑地でかんたんに実施できる小学校中学年、高学年向けのプログラム例をそれぞれ紹介します。



環境教育写真（コトブキ提供）

実際に行われた体験プログラム
自由研究はコレできまり！MY 昆虫図鑑を作ろう！

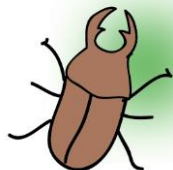
小学校低学年～

ねらい

- ・昆虫を切り口として自然への興味関心を深めると同時に、昆虫の好む環境や採集の正しい方法を伝える。

準備

- ・図鑑は全 5 ページのものが作れるよう、作成キットを準備する。
表紙もオリジナルのものを作成してもらい、ラミネート加工を施す。
プログラム当日は時間の関係上、「もっとも印象に残った昆虫一匹」の図鑑を作ってもらい、発表する。



実施概要

日にち：2011 年 7 月 30 日及び 31 日（両日とも同内容）

主催：くりはま花の国

フィールド：屋外

参加人数：21 名



イメージ写真

実施内容

●スケジュール、実施内容

アイスブレイク「こんなときどうする？」の実施・
スケジュール確認・注意事項の説明。



展望台へ移動しながら昆虫観察会開始。



展望台周辺草むらにて各自昆虫観察。（途中様子を見て、昆虫採集の方法などを説明。）



【昼食休憩】



図鑑作成手順説明の後、各自図鑑の代表ページ
1 ページを作成。



完成したページを発表後、各自気がついた昆虫の特徴や生息環境を共有し、終了。

※アイスブレイク「こんなときどうする？」について

危険生物（ハチ、ヘビ、トゲのある植物）への注意を促すミニゲーム。

ゲームのルール → 各生物の対処法とそのポーズを伝え、生物名を言ったらすぐに対応したポーズをとる。



まとめの発表会（くりはま花の国）



アイスブレイクの様子（くりはま花の国）

プログラム例 1.

世界からきた樹木や草花や生き物～世界からやってきたものを探そう～
小学校中学年～

ねらい

- ・身近な公園に植えられている植物の中には、世界各地からやってきたものがある。身近な植物や生き物の世界にも国際化が進んでいることを理解してもらう。
- ・植物の原産国を世界地図で調べ、国際理解を促す。

準備・進め方

●準備するもの

白紙の世界地図、世界地図

●進め方

- ① 世界からやってきた樹木や草花リスト（P.36）を参考にしてその樹木が公園にあるか探す。
- ② 樹木のやってきた国を世界地図で探す。
- ③ その国の国旗を調べて白紙の世界地図に記入する。
- ④ 首都、言葉などを調べて班毎に国を割り当てて発表する。



アイルランド



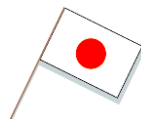
カナダ



ハンガリー

発展

- ・日本の木、世界の木、都道府県や市町村の木や花について調べる。
- ・外来の動植物は日本と世界との交流を教えてくれるが、一方で、様々な問題も引き起こしている。
外来種の問題についても考える。



■外国から来た樹木・植物

中国から来た樹木：

アベリア、キンモクセイ、ボケ、サンザシ、イチョウ、カリン、ジンチョウゲ、トウネズミモチ、ナンキンハゼ、ハナズオウ、ボタン、トウオガタマ

その他の国から来た樹木：

アカシア（オーストラリア）、エニシダ（南ヨーロッパ）、スズカケノキ（アジア南部～ヨーロッパ南東部）、ニセアカシア（アメリカ）、アメリカヒトツバタゴ（アメリカ）、キングサリ（イギリス）、ブルーベリー（アメリカ）、タイサンボク（アメリカ）

草花：シロツメクサ（ヨーロッパ）、アカツメクサ（ヨーロッパ）、オオイヌフグリ（ヨーロッパ）、オオマツヨイグサ（北アメリカ）、西洋タンポポ（ヨーロッパ）、レンゲソウ（中国）

園芸植物：コスモス（メキシコ）、スイートピー（イタリア）、ダリア（メキシコ）、チューリップ（トルコ）、ヒマワリ（アメリカ）、ヒヤシンス（ギリシャ）、マーガレット（カリブ諸島）



イチョウ



ニセアカシア



オオイヌフグリ



ピンクマーガレット

■世界の国花（正式に決められているもの）

シロツメクサ（アイルランド）、アメリカディゴ（アメリカ、カリフォルニア）、バラ（イギリス、ブルガリア）、ハス（インド）、マツリカ（インド、ネパール）、アカキナノキ（エクアドル）、ユッカ（エルサルバドル）、アカシア（オーストラリア）、サトウカエデ（カナダ）、ハナシュクシャ（キューバ）、ラン（タイ、マレーシア）、カトレア（コスタリカ、コロンビア）、ハイビスカス（スリランカ、ジャマICA）、チューリップ（トルコ）、ムクゲ（韓国）、シャクナゲ（ネパール）、ゼラニウム（ハンガリー）、ヒマワリ（ペルー）、ポインセチア（メキシコ）、ダマスクローズ（シリア）、ダリア（メキシコ）



アメリカディゴ



サトウカエデ



ゼラニウム



ダリア

プログラム例2.
まちと公園の気温を調べてみよう！

小学校高学年～

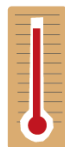
ねらい

- 気温の測り方を身につける。
- 表とグラフの見方、作り方、使い方を知る。
- 環境による気温の違いを知る。
- 地域の気象について調べ、地形や水、緑や人工物との関係を知る。
- 地域のアメニティ、快適な生活環境について考える。

準備・進め方

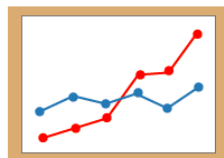
●準備するもの

温度計、時計、地図や図面、傘など日よけになるもの、うちわなど風を送るもの



●進め方

- ①地域の中で、環境の違うポイントを数ヶ所選び、時間ごとに温度を測定する。
- ②公園の中で、環境の違うポイントを数ヶ所選び、時間ごとに温度を測定する。
- ③測定の結果を表とグラフにする。
- ④結果からわかることをまとめて発表する。



発展

- 他の学校での観測結果や、異なる地域の気象観測結果と比較をする。季節で比べてみる。
- 地表面など、異なる高さの温度、土の中の温度、水の中の温度を測ってみる。木の体温測定をしてみる。車の中の温度を測ってみる。



参考

- 気温の測定は、普通 1.2mの高さで行う。
測定する人の体温や直射日光の影響を受けないように、風下に立ち、日陰をつくって、腕をのばして温度計を持つ。
うちわなどで風を送って、空気以外の熱の影響を受けないように注意して測定する。樹木の枝に温度計をつるして測定しても良い。

参考図書 感じて調べて考える学習ガイド「公園へ行こう！」
全国女性造園技術者の会グリーンハートプロジェクトチーム編著者

(3)復興にキク緑

心を癒す緑

震災復興プロジェクトでは、緑に関するものが多く行われています。現在も継続して支援を行っているプロジェクトの一例を紹介します。

●さくら並木プロジェクト（NPO法人さくら並木ネットワーク）

津波到達最高地点にサクラを植樹するプロジェクト。そのサクラが将来の大津波の「住民避難」の目標に、平成 23 年 3 月 11 日の犠牲者の鎮魂となってその記憶を風化させずに語り継ぐシンボルにしようという取り組みをしている。また、地元被災地の造園業者らに発注する東北地方の震災復興支援事業の一環でもある。



さくら並木ネットワーク <http://sakuranamiki.jp/>

●仮設住宅×緑のカーテンプロジェクト（NPO法人緑のカーテン応援団）

2011 年～2012 年 7 月まで 8185 戸に緑のカーテンを設置し、夏場の温熱環境の改善、プライバシーの保護、緑の潤い、コミュニティ育成のお手伝いを行ってきた。2013 年まで 30000 戸の仮設住宅へ設置することを目標としている。

NPO 法人緑のカーテン応援団 <http://midorinocurtain-kasetsu30000pj.jimdo.com/>



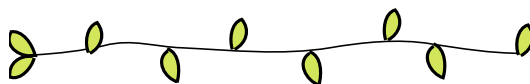
●緑でつながるプロジェクト（ふんばろう東日本支援プロジェクト）

被災地の、仮設住宅やみなし仮設で生活している方々に、お花や野菜を育てる「たのしみ」や、見る「よろこび」を感じていただき、緑を通じて仲間と共に活動し会話することで「人とのつながり」を楽しんでほしい、その「仕組み作り」を支援するプロジェクト。

ふんばろう東日本支援プロジェクト <http://fumbaro.org/>



(4) 広げよう緑の“わ” 緑化助成とは…？



各自治体では、緑化を推進することによりヒートアイランド緩和や良好な景観・生活環境などの形成を目的として、緑化助成制度を設けています。ここではそれら緑化助成の一部を紹介します。詳細は各自治体へお問い合わせください。

番号	助成対象	事業名
	地区自治体・公共団体名：部署（電話番号）	
1	屋上・壁面・プランター	屋上緑化助成金交付制度
	東京都千代田区：環境土木部生活環境課（03-3264-2111）	
2	屋上・壁面	花と緑の街づくり推進要綱
	東京都中央区：公園緑地課緑化推進係（03-3546-5438）	
3	屋上・壁面・ベランダ	港区屋上等緑化助成
	東京都港区：街づくり推進部土木事業課（03-3578-2111）	
4	屋上・壁面・ベランダ	みどり公園課緑化係
	東京都文京区：文京区屋上等緑化補助金交付要綱（03-5803-1254）	
5	屋上・壁面・ベランダ	屋上・壁面緑化助成制度
	東京都目黒区：みどりと公園課みどりの係（03-5722-9359）	
6	屋上・壁面	屋上緑化・壁面緑化助成
	東京都世田谷区：みどりとみず政策担当部（03-5432-2282）	
7	屋上・壁面・ベランダ	屋上緑化等助成制度／屋上緑化等あっせん制度
	東京都渋谷区：都市整備部環境保全課（03-3463-1211）	
8	屋上・壁面	台東区屋上緑化等助成金制度
	東京都台東区：都市づくり部公園緑地課（03-5246-1323）	
9	屋上	墨田区屋上緑化整備補助金交付要綱
	東京都墨田区：地域振興部環境担当環境保全課（03-5608-6208）	
10	屋上・壁面	江東区みどりのまちなみ緑化助成制度
	東京都江東区：土木部水辺と緑の課みどりの係（03-3647-2079）	
11	屋上・壁面・ベランダ	品川区みどりの条例
	東京都品川区：まちづくり事業部道路公園課（03-5742-6799）	
12	屋上・壁面・ベランダ	杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱
	東京都杉並区：都市整備部みどり公園課（03-3312-2111）	
13	屋上・ベランダ	豊島区屋上緑化助成金交付要綱
	東京都豊島区：土木部公園緑地課（03-3981-4940）	
14	屋上・ベランダ	板橋区民間施設緑化助成要綱
	東京都板橋区：土木部みどりと公園課（03-3579-2533）	
15	屋上	屋上緑化助成
	東京都練馬区：環境まちづくり事業本部土木部公園緑地課（03-3993-1111）	
16	屋上・壁面・ベランダ	葛飾区屋上緑化等補助金交付要綱
	東京都葛飾区：環境部環境課緑化推進係（03-5654-8239）	
17	屋上	昭島市屋上緑化造成事業補助金交付要綱
	東京都昭島市：環境部環境課水と緑の係（042-544-5111）	
18	屋上・壁面	横浜市屋上緑化等助成事業要綱
	神奈川県横浜市：環境創造局環境活動事業課（045-671-3447）	
19	屋上・壁面	屋上緑化等助成事業
	神奈川県川崎市：環境局緑政課（044-200-2380）	
20	生垣・壁面	民有地緑化推進助成制度
	神奈川県横須賀市：都市部景観推進課（046-822-8377）	
21	壁面	壁面緑化助成制度
	神奈川県逗子市：環境部緑政課緑政係（046-873-1111）	
22	屋上・壁面	屋上緑化促進事業
	神奈川県相模原市：環境保全部みどり対策課（042-769-8242）	

23	屋上・壁面・ベランダ 千葉県市川市：(財)市川市緑の基金(047-318-5760)	屋上等緑化推進事業
24	屋上・壁面 千葉県船橋市：都市整備部みどりの推進課(財)緑の基金(047-436-2557)	都市整備部みどりの推進課(財)緑の基金
25	屋上・壁面 埼玉県川口市：都市計画部みどりの課推進係(048-258-7492)	屋上緑化助成金交付制度
26	屋上・壁面・ベランダ 宮城県仙台市：建設局百年の杜推進部百年の杜推進課(022-214-8389)	仙台市建築物緑化助成金交付要綱
27	屋上・壁面 石川県金沢市：都市整備局緑と花の課(076-220-2356)	金沢市屋上等緑化助成金交付
28	屋上 岐阜県岐阜市：(財)岐阜市みどりのまち推進財団(058-262-6538)	屋上緑化奨励補助制度
29	屋上・壁面 静岡県三島市：まちづくり部水と緑の課水と緑の係(055-983-2642)	三島市屋上等緑化事業補助金
30	屋上・壁面 愛知県名古屋市：緑政土木局緑地部緑化推進課(052-972-2465)	名古屋緑化基金建築物等緑化助成制度／奨励モデル型建築物等緑化助成制度
31	屋上・壁面 愛知県岡崎市：土木建設部公園緑地課(0564-23-6399)	岡崎市屋上等緑化事業奨励補助金交付制度
32	屋上・壁面 京都府京都市：建設局水と環境部緑政課緑化推進係(075-222-3589)	建築物緑化助成事業
33	屋上・壁面 京都府：自然・環境保全室(075-414-4706)	みどりの屋根づくり推進事業
34	屋上・壁面 大阪府大阪市：ゆとりとみどり振興局緑化推進部緑化課(06-6615-0965)	敷地・生け垣等緑化、建造物緑化への助成
35	屋上・壁面・ベランダ 兵庫県：県土整備部まちづくり局都市政策課緑化計画係(078-362-3563)	都市緑化促進事業助成金
36	屋上・壁面 岡山県岡山市：(財)岡山市公園協会緑化推進課(086-262-9588)	屋上緑化奨励事業／壁面緑化奨励事業
37	民有地 広島県広島市：(財)広島市動植物園・公園協会緑化管理部緑化推進課(082-228-0815)	民有地緑化事業補助金制度
38	屋上・壁面・ベランダ 山口県下関市：都市整備部公園緑地課管理係(0832-31-1933)	屋上等緑化推進事業について
39	壁面 福岡県北九州市：建設局公園緑地部緑政課(093-582-2466)	「北九州市水と緑の基金」緑化助成制度
40	屋上・壁面 福岡県福岡市：都市整備局公園緑地部緑化推進課緑化推進係(092-711-4424)	福岡市屋上緑化助成制度
41	屋上・ベランダ 長崎県長崎市：長崎市道路公園部みどりの課(095-829-1171)	福岡市屋上緑化助成制度
42	屋上・壁面・ベランダ 熊本県熊本市：環境保全局環境保全部緑保全課(096-328-2352)	熊本市屋上等緑化補助金交付要綱
43	屋上・壁面 大分県大分市：都市計画部公園緑地課緑化計画係(097-534-6111)	活き粋大分街かど空間奨励事業
44	屋上・壁面 宮崎県宮崎市：(財)宮崎市花のまちづくり公社(0985-21-1872)	緑化空間創出事業補助
45	屋上・壁面 沖縄県那覇市：建設管理部花とみどりの課(098-951-3225)	那覇市屋上緑化助成制度

※都市緑化機構の「屋上・壁面緑化の推進に関する諸制度」のページを参照しています



(5)日本の緑の復活

人づくり

岡山で、ずっとサクラ等の保存に携わっている樹木医の原田照太さんは、「樹を育てることは、人を育てること」と話してらっしゃいました。原田さんは、県内のさまざまな学校の樹木の育成にかかわってこられた方です。ある学校荒廃があった中学で緑の育成指導をしたところ、段々と学生が落ち着いて、成績も上がったそうです。まさに、緑は人を育てるという例ではないでしょうか。

緑が育つには時間がかかります。病気の時に飲む薬のようにすぐ効くようにはなりません。その時間が人との関係を築くには、ちょうどいいのです。原田さんのような方が日本のいろいろなところで活躍すると、日本の緑がもっと元気になると同時に人も元気になるはずです。緑づくりに携わっている方は、ぜひ地域の緑が生き生きとなる手法を提案してください。



緑の体験学習



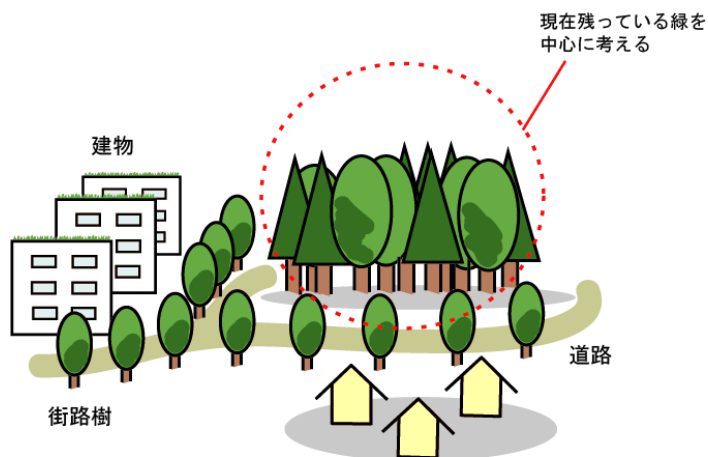
緑の知識を深めるセミナー

【地域の緑が生き生きとなる手法例：地域住民に向けて、体験学習やセミナーを開催して緑についての良さを知ってもらったり、知識を深めてもらう。】

まちづくり

日本人は緑に慣れ過ぎていて、その恩恵に気付いている人が少ないです。人が住む前は日本のほとんどが緑で覆われていました。街をつくと、まず緑地を切り取り、道路を整備し、電気や水道のインフラを整備し、建物を配置し、残ったところに緑地や街路樹を植えていくというのが今までのやり方でした。この進め方を逆にしてみるとどうでしょう。緑を活かすには、ここに道路を通して、建物を配置し、こんな感じの景色をつくらうというように。

街づくりは、何も無い土地からの発想で、樹木を植えるのではなく、元々あったものとして、かつての緑に覆われた日本を基本に考えるようにする。街の緑が違って見えてくるはずです。



緑を基準にまちをつくる

あとがき

この「緑のキキメ」は、2013年に公益財団法人都市緑化機構が主催するグリーンビジネス・マネジメント共同研究会の「グリーン・コミュニケーション部会」が、緑化の良さを簡単にやさしく説明できる冊子として、口下手な緑化関係者の手助けになるためにと作成したものです。小さくポケットサイズにするにあたり、緑化の魅力を十分に伝えるトピックスに絞るのが大変でした。早く出版しないといけない！と当初は考えていたので、体裁やイラストを大急ぎでそろえたため、制作側としては不十分なところもありました。しかし、発行した途端に品薄になるぐらい好評をいただきまして、早く改訂版をつくらないといけないと、ぐずぐずしているうちに2年がたってしまい、やっとできた次第です。待たせてしまってすみません。

この2年間で緑化関係においての変化は、装飾型壁面緑化の流行と、材料の値上がり、技術者不足です。技術者の不足は今後もますます問題になると思います。そこで、若い人たちがこの冊子を手にとって、緑化の魅力に気付いて、この世界に入ってくれば最高のキキメになるので、ぜひ若い人に読ませてあげてください。

この本を書くにあたり、資料提供やご指導して下さった方々、ありがとうございました。これからよろしくお願い致します。

山崎 誠子

【企画】 公益財団法人 都市緑化機構 グリーンビジネス・マネジメント研究会

【グリーン・コミュニケーション部会】

日本経済新聞社 社友	原平 周平
山梅造園土木株式会社	山田 忠雄
山梅造園土木株式会社	三田 芳夫
株式会社東急不動産次世代技術センター	吉田 一居
西武造園株式会社	清水 遠
西武造園株式会社	小澤 未夏子
有限会社 GA ヤマザキ	山崎 誠子
有限会社 GA ヤマザキ	針谷 未花
物林株式会社	室橋 智
株式会社 アティ	渡辺 照雄
イビデングリーンテック株式会社	水崎 貴久彦
一般社団法人キャンパスアドベンチャー機構	八木 信行
一般財団法人 日本緑化センター	小山 直人

【雨水貯留・浸透・利用部会】

物林株式会社	梶井 直和
物林株式会社	只野 琢也
公益社団法人雨水貯留浸透技術協会	屋井 裕幸
公益社団法人雨水貯留浸透技術協会	益田 宗則
日本大学生物資源科学部造園緑地学研究室	藤崎 健一郎
東邦レオ株式会社	木田 幸男
東邦レオ株式会社	野島 義照

【緑化製品・工法部会】

株式会社コトブキ	一木 誠
株式会社コトブキ	野口 厚志
イビデングリーンテック株式会社	佐藤 忠継

【イラスト・表紙デザイン】

針谷 未花 (向) GA ヤマザキ
清水 稚奏子 同上
伊藤 由華 同上

【発行日】平成27年6月1日

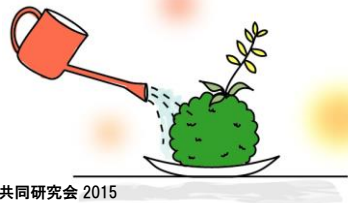
【発行】公益財団法人 都市緑化機構

グリーンビジネス・マネジメント共同研究会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階

TEL:03-5216-7191 (代表) FAX:03-5216-7195

E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp



©都市緑化機構グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 2015